

〈 年間目標 〉		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期					
		産休明け～3ヶ月未満		3～6ヶ月未満		6～9ヶ月未満		9～12ヶ月未満		1歳～1歳6か月未満		1歳6か月～2歳未満	
よく遊び、よく食べ、よく眠る		産休明け～3ヶ月未満		3～6ヶ月未満		6～9ヶ月未満		9～12ヶ月未満		1歳～1歳6か月未満		1歳6か月～2歳未満	
ねらい		一人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、安定した生活リズムで気持ちよく過ごせるようにする。		特定の保育者が食事、睡眠、排泄など生活面の世話をし、愛着関係を形成している。		おもちゃを「どうぞ」と渡してあそびの相手をし、保育者との関わりを楽しめるようにする。また、体全体を動かしてあそぶことを楽しめるようにする。		・楽しい雰囲気の中で、自分から食べようとする意欲を引き出す。 ・広い場所でははいはいや伝い歩きなどをして探索活動を楽しめるようにする。		・保育者に見守られながら一人遊びを十分に楽しめるようにする。 ・様々な遊びを通して手指の機能を伸ばす。		・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な衣服を着脱しようとする。 ・友達に関心を示す。 ・おまると興味を持ち、座ろうとする。また、おもつが濡れたことを表情や大きく伝えてくれる、それに応える。	
子どもの姿		・眠りが浅く、おもつが濡れたり、おなかですぐと泣き、満たされると泣き止む。 ・音、光、左右に動くものを追視する。 ・あやしてもらってよろこぶ。		・生活リズムが定まる。 ・首が据わり、寝返りをできるようになる。 ・初期食を開始する。 ・話しかけると喃語を発する。		・午前、午後の2回寝になり、睡眠、食事の時間が定まる。 ・人見知り、後追いが始まり、喃語が盛んになる。 ・物をつかんだり、持ち替えたりする。		・午睡が1回に定まってくる。 ・手づかみで食べようとする。 ・はいはい、つかまり立ち、つたい歩きなど移動が盛んになる。		・思い通りにいかないとき泣いて助けを求め、また、嫌いな食べ物がで始める。 ・歩行ができるようになり、探索活動が盛んになる。保育者の模倣が多くなり、踊ったり、挨拶したりできるようになる。		・スプーンの使い方が上手になってくる(乳児食になる)。 ・おもつが濡れると知らせる。また、タイミングが合えば、トイレで排泄できる。 ・友達との物の取り合いが多くなる。 ・保育者の簡単な言葉かけが理解できる。	
養護と教育	健康	生活習慣	食事	授乳は安定した姿勢で抱き、微笑みかけながらゆったりとした気持ちで行う。	家庭で初期食を始めたら、スプーンで水分補給を行い、スプーンに慣れられるようにする。	・中期食に移行するので、家庭での進み具合を確認し、連携しながら進める。 ・色々な食材を食べてみようという意欲を伸ばす。 ・自分のペースで無理なく食べられるようにする。 ・椅子に座って、保育者に離乳食を口に運んでもらう。	・色々な食材を自分(手づかみ、スプーン)で食べようとする。 ・助けられながらコップで飲む。 ・スプーンに興味を持つ。 ・食事の始めと終わりに「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をし、少しずつ食事のマナーを伝えていく。	・しっかり咀嚼できているか確認しながら進める。 ・スプーンを使い、他児を真似て一人で食べようとするので、スプーンの使い方を知らせていく(上手にぎり)。 ・エプロン自分で付けようとする。 ・自分で食事のテーブルに向かう。 ・自分でコップを持ち、飲む。	・おかずをスプーンですくい、口まで自分で運ぶように勤める。 ・苦手な食品は口から出すこともあるが、無理強いせず徐々に進めていく。				
			排泄	優しく語りかけながら、オムツ交換を行い、安心してオムツを交換してもらおう。	オムツを替えて、綺麗になった気持ちよさを感じる。	オムツ交換時に足をあげる。	オムツ替えのときに保育者の言葉を聞いて立ったり、足を上げたりしようとする。	保育者に誘われてオムツ替えコーナーに行こうとする。	興味を示している子はトイレに行き、オマル・便器に慣れる。				
			着脱	首が据わっていないので、頭をしっかりと支える。	上着の着脱のときは、袖から脱がせていく。声かけも必ず行う。		着替えの行為の参加を意識し始める。	手足を動かし、着替えの行為に参加し始める。	自分でズボンを引っ張ろうとする。				
			睡眠	睡眠が取れるように静かな環境を作る。	睡眠のリズムが整ってくるので決まった保育者が睡眠に誘うことで一人ひとりが安心して眠れるようにする。	一定時間眠れるようになる。	2回寝になり、決まった時間に寝るようになる。	布団の上で安心して眠る。	1回寝で就寝のリズムが一定になる。自分の布団に歩いて向かう。				
			清潔	肌着をこまめに交換してもらい、身体の清潔を保つ。	肌を清潔に保ち、さっぱりした気持ちよさを感じる。	おもちゃを噛んだり、舐めたりするので毎日おもちゃを拭く。	鼻水が出ていたら優しく声をかけ拭いてあげ、綺麗になった気持ちよさを感じる。		食事後に自分で口や手を拭こうとする。				
	運動	音のなるおもちゃを目の前に見せ、ものを追視したり、音のほうへ首を向けるよう促す。	首が据わると腹ばいなど、様々な体勢をとって、頭を上げたり、腕を支えたりするので、子どもの状態をよく見て無理のないようにする。	・グライダーポーズ、腹ばいであそぶ。 ・ずり這いを足でしっかり床を蹴る。	・下半身が発達し、はいはいで移動する。 ・高這いができ長時間姿勢を保つことができる。	・ひとりで立って歩く、階段ののぼりおりができる(しゃがむ、またぐ)。 ・親指と人差し指で物をつまむ。 ・積み木を3個以上積む。	・足を揃えて階段のぼりをする。 ・ボールを蹴る、押す、引く。						
	人間関係	(人との関わりに関する領域) ・抱っこされて安心する。 ・あやされて喜ぶ。 ・視線が合うことが増える。	・喃語に優しく対応しながら特定の保育者が関わり、愛着関係の基礎を築けるようにする。	・知らない人を区別する。 ・「いないいないばあ」などの遊びを繰り返して楽しみ、関わりを期待するようになる。	・三項関係の成立 ・人見知りのときは、不安な気持ちを理解し、まるごと受け止め、特定の大人との信頼関係をしっかりと結ぶ。	・友達とふれあい、共感する。 ・嫉妬の感情が表れるので気持ちをしっかりと受け止める。	・「～ではない」「～だ」の思考ができ、自我が芽生えるので、その気持ちを受け止める。 ・得意、すねる、不安など高度な感情表現が出てくる。						
	環境構成	人的・物的援助 ・保育室をこまめに掃除をし、保育環境を整える。 ・一人ひとりの健康面や生活リズムを把握し、落ち着いた環境の中で眠れるようにする。 ・検温がすぐできるような場所に体温計を置いておく。	・個々の発達に十分留意しながら過ごし、生活リズムを安定させていく。 ・発達に合わせた様々な玩具を準備し楽しめるようにする。	・誤飲を防ぐため、直径3.5センチより小さな玩具は置かないようにする。また、定期的に玩具が壊れていないか点検をし、舐めたり口に入れても危険のないようにする。 ・行動範囲の広がりに伴い、室内の安全面、衛生面に留意する。 ・五感に働きかける玩具を準備し、言葉かけをして活動意欲を引き出す。	・つかまり立ち、伝い歩きの際には転倒に注意し、探索が十分に楽しめる環境作りをする。 ・じっくりと楽しめる玩具と環境の設定をし、一人遊びを十分に楽しめるようにする。	・危険を予測し安全面に配慮しながら見守り、活発な活動が楽しめるようにする。 ・室内だけでなく戸外へも積極的に出て、自然を感じられるようにする。	・子どもたちが伸び伸びと活動できる環境を作るのに適したものを準備、設定する。 ・安全面を考慮し、活動時の保育者の配置を事前に検討する。						
	言語	(言葉の獲得に関する領域) クレーンガ ・母親の声の区別ができる。 ・話しかける人の目や口元をじっと見る。	喃語がでる ・喃語に強弱や高低がつく。 ・大人の呼びかけに反応する。	・大人の呼びかけに反応する。 ・反復喃語	指さしのはじまり ・喃語に強弱や高低がつく。 ・大人の言葉をいくつか理解する。 ・名前を呼ばれたら振り返ったり手を上げたりできる。	初語・一語文を話す ・喃語と意味が一致する。 ・象徴機能・大人の言葉に対し首振りなど動作でこたえる。 ・要求や拒否を喃語や動作で表現一拒否を表現す片言。	二語文を話す ・大人の言葉をオウム返りする。 ・友だちの名前がわかる一友達の名前を呼ぶ。						
	表	絵画・造形	・手形、足型を使って季節を表現する。	・感触あそびをする。	・紙をちぎる・丸める。 ・点々を描く。	・上下左右のなぐり描き。	・連続ぐるぐる描きのはじまり。 ・ちぎる・転がすなどの感触あそびを楽しむ。						
現	音楽			・リズムに合わせて体を動かす。 ・音のするものに興味をもつ。	・気に入った歌を繰り返し楽しむ。 ・太鼓をたたく。								

		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
具 体 的 な 年 間 計 画	言語 (言葉の獲得に関する領域)	・喃語や発声、表情などで身近な大人に呼びかける。 ・名前を読んだり言葉がけに対し、仕草などで応じる。	・保育士の語りかけや歌に仕草などで反応する。	・「もう1回」「いやいや」など、言葉や仕草で伝える ・指差しや身振り、片言の言葉など盛んに使うようになる。	・絵本に触れ、親しむ。 ・一語文でやり取りを楽しむ。	・「ちょうだい」「ばいばい」など言葉と動作が結びついてくる。 ・自分の名前を言う。	・二語文で簡単な会話ややり取りを楽しむ。 ・友だちの名前や先生の名前が分かり、呼ぶ。 ・絵本のフレーズや歌をまねて楽しむ。
	表 絵画・造形	手形・足型スタンプ こいのぼり製作	感触あそび(寒天あそび) 感触あそび(片栗粉粘土) 感触あそび(水) 新聞紙あそび 七夕製作	なぐり描き 夏祭り製作	シールあそび ハロウィン製作	クリスマス製作	ひな祭り製作
	現 音楽	手あそび・わらべうた ぞうさん ちょうちょう こいのぼり パスごっこ	かえるのうた かたつむり しゃぼんだま きらきら星	アイスクリーム てをたたきましよう とんぼのめがね おうまのおやこ	どんぐりころころ まつぼっくり やきいもグーチーパー 大きなりの木の下で	クリスマスのうたがきこえてくるよ おほしがひかる ゆき 雪だるまのチャチャチャ	まめまき おもちゃのチャチャチャ うれしいひなまつり 犬のおまわりさん
	健 康 運動	プレイクションの山登り トンネルフープ ローリングマット 階段上り下り	水あそび プールあそび				階段上り下り すべり台
	反 省	・初めての環境に戸惑い涙したり、保護者と離れる不安感を感じている様子が見られていたが、わらべうたを通して一人ひとりと丁寧に関わることで、歌が聞こえると涙がとまり、少しずつ笑顔も見られてきている。 ・生活リズムは家庭と様子を伝え合いながら、すり合わせをしたり家庭と同様の対応をしたりすることで、園でのリズムも確立されつつある。個々の要求や欲求を汲み取り、応答的な関わりを大切にして安心して過ごしていけるようにしていきたい。	・自由に探索活動を行い、好きな遊びや玩具を見つける姿がある。身体的な発達が見られ、それぞれできることが増えてきている中で、運動遊びを取り入れる事で身体の使い方を知り、更に意欲を持って身体を動かそうとする姿があった。それらが着脱などの生活の動きにも繋がってきている。また、様々な素材を使うことで、初めての感触や遊びにも自分から参加しようとする様子がある。色々な経験を積み重ね一人ひとりの興味を引き出し、広げていけるような遊びを取り入れていきたい。				

		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
		具体的な年間計画	言語 (言葉の獲得に関する領域)	擬音語を使った絵本を楽しんで見る。	→	繰り返しの言葉を使った絵本を楽しんで見る。	→
表	こいのぼり製作 なぐり描き シール貼り 小麦粉粘土		七夕製作	色水遊び 寒天遊び 春雨遊び	ハロウィン製作	クリスマス製作	ひな祭り製作
現	ちょうちよ・ちゅうりっぷ ちっちゃないちご・こいのぼり ことりのうた リトミック・リズム遊び		かたつむり・かえるのうた きらきら星・たなばたさま 水あそび	すいかの名産地・アイアイ げんこつ山のたぬきさん ぼんぼこたぬき	どんぐりころころ まつぼっくり・こぎつね やきいもグーチーパー 大きな栗の木の下で	あわてんぼうのサンタクロース お星がひかる お正月・ゆきだるまのチャチャチャ コンコンクシヤンのうた	鬼のパンツ・ゆき うれしいひなまつり ぶんぶんぶん・でておいで
健 康	散歩					鉄棒ぶら下がり 三輪車	
反省		<p>新入園児は新しい環境にすぐに慣れ笑顔ですぐす事ができた。生活面一つ一つに慌てず、落ち着いて行動できるようにした事で高月齢児は自分で出来る事はやってみようとする姿が見られた。在園児は、新入園児が落ち着くとともに疲れからか甘えが強くなったり、自己主張する姿が見られるようになってきた。一人一人の気持ちにこたえ、一対一の時間を大切にしたり、興味のある遊びを一緒に楽しみ安心感を感じられるようにしたい。食事や午睡も安定してきており、「自分で食べたい」「お布団に横になれる」といった意欲的な姿も少しずつ増えてきている。個々のペースを尊重しながら、安心して生活できるよう関わっていくことの大切さを改めて感じた。子ども同士の間わりも見られるようになり、同じ空間で遊ぶ中でおもちゃの取り合いや思いがぶつかる場面も増えてきた。その都度、保育者が気持ちに寄り添いながら、簡単な言葉で仲立ちを行うことを心がけた。</p>	<p>七夕制作ではクレパスで自由に描いたり、初めて絵の具と筆を使って色を塗ることに挑戦した。筆を上手に持って塗る姿や、「もっとやりたい」と楽しむ声も聞かれ、表現する楽しさが育っている様子が見られた。活動時間や人数の調整など、ゆったりと取り組める環境作りにも引き続き配慮していきたい。アデノウイルスやヘルパンギーナなどの感染症が見られ、高熱による欠席が相次いだ。登園が再開した後も疲れが見られる子どもが多く、体調や気分の波を丁寧な受け止めながら、無理のないペースで保育を行った。熱中症アラートが発令された日や、体調が万全でない日は春雨や小麦粉粘土、水や泡、色水など季節に合わせた感触遊びを取り入れた。初めての感触や見た目には戸惑う姿もあったが、繰り返し体験する中で徐々に楽しさを見出し、「やってみたら楽しかった」というような経験に繋がっていった。子ども自身が自分の“好き”や“苦手”に気づく貴重な機会にもなった。プール遊びは連日の暑さや体調不良が続きほとんど入ることができなかった。</p>				

〈 年間目標 〉		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期	
		4月～5月		6月～9月		10月～12月		1月～3月	
よく遊び、よく食べ、よく眠る									
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分でしようとする意欲を育む。 ・個人差に留意しながら一人ひとりの発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを3点持ちしてこぼさず食べる 		<ul style="list-style-type: none"> ・少し先のことを見通して行動する。 	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・見立て、つもり遊び、遊びの中で生活を再現する。 ・積み木で作ったものを見立てる。 ・手指操作あそびが豊かになる。 ・食べ物の好き嫌いが出てくる。 ・排泄の自立のための身体機能が整う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・排尿間隔が2時間になる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・道具を媒介にお友達とごっこ遊びをする。 ・粘土で球や細長い形が作れる。 ・積み木で積む、並べるを組み合わせて作る。 ・簡単なルールのある遊びをする。 ・偏食が衰える。 ・赤ちゃん言葉から大人言葉への移行の始まり。 			
養護と教育	健康	生活習慣	食事	よく噛む習慣をつける	食器に手を添えて、スプーンを使って自分で正しく食事をしようとする。	スプーンの3点持ちが安定する。 スプーンと茶碗を両手で使える。	細かい介助は必要だが、最後まで自分で食べようとする。		
			排泄	促しに応じ便座に座る。	布パンツを着用する				
			着脱	援助されながら、上の服を脱ぐ。 自分で靴を履く。	保育士に着脱を手伝ってもらったり誘われて自分でできることをする。	保育士と一緒にジャンパーを着ようとする。	自分で上の服を脱ぐ。		
			睡眠	自分で布団に入り見守られながら安心して眠る。					
			清潔	保育士と一緒に手を拭いたり、手洗いをしたりする。	保育士に促されて手を拭いたり、手洗いをしたりする。		食事やおやつの前に手を洗うなど、少し先のことが分かり、自分でしようとする。		
	運動	積み木を8個以上積む。 独立したグルグル描きをする。 友達と手を繋いで歩く。	飛び降りる、ぶら下がることができる。	両手に持ったボールを頭上から投げる。 粘土や球で細長い形が作れる。音楽に合わせて両手を同時に動かす。	保育士の仲立ちによって共同の遊具などを使って遊ぶ。				
	人間関係 (人との関わりに関する領域)	保育士や友だちと信頼関係を築き、安定してあそぶ。	「自分で」「いやだ」などと強いこだわりや自己主張を見せる。	保育士や友達のしぐさや行動を真似して一緒に楽しむ。	保育士の仲立ちで相手にも思いがあることを分かろうとする。				
	環境構成	人的・物的援助	靴箱・ロッカーの個人のマークを見て、準備や片付けができるようになる。 保育士に気持ちを受け止められ、優しく接してもらいながら安心してすごす。	食事スペース・着脱スペース・あそびスペースをつくり、落ち着いて過ごせるようにする。 保育士とともに水あそび、夏のあそびを満足するまで楽しむ。		保育士に見守られながら身の回りのことを自分でできるようになる。			
	言語 (言葉の獲得に関する領域)	自分で自分の思いを伝えようとする。 友達のことを名前で言い始める。 物の名前を知りたがる。	自分の意思や欲求を言葉で表す。 簡単な繰り返し言葉やリズムカルな言葉の絵本を好む。 発音が明瞭になり、語彙が著しく増加する。	言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いを短い言葉で表す。意思や要求を言葉で表す。 保育士や友達との会話を楽しむ。 「なんで」「どうして」と尋ね、様々な事に興味を持つ。問いと答えの関係が成立する。					
	表現	絵画・造形	独立したグルグル描きをする 手先を使ってのり貼りやシール貼りをする。	ねじってちぎるなどの連続した手先の動作	丸が閉じる。 目や口を認識して描く	丸の大きさを調整して描ける。			
音楽		季節の歌に親しむ 手遊びを楽しむ	保育士や友達と一緒に歌うことを楽しむ		立って並んで歌う				

		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月		
		言語 (言葉の獲得に関する領域)	さんぼシリーズ 春の昆虫や虫に関する絵本	ジュースやアイス・ゼリーなど 夏のあそびに関する絵本	魚や海にちなんだ絵本	ハロウィンに関する絵本 木の実や落ち葉に関する絵本	おおきなかぶ さんびきのこぶた おおかみと7ひきのこやぎなど	ももたろう・どうぞのいすなど 簡単なストーリーのある絵本	
具体的な年間計画	表	絵画・造形	小麦粉粘土 こいのぼり制作	七夕製作	泡遊び 色水遊び 寒天遊び	ハロウィン製作	クリスマス製作 のり・はさみ(1回切り) 顔を描く	のり・はさみ 顔を描く・折り紙	
	現	音楽	ちょうちょ・ちゅうりっぷ ちっちゃないちご・こいのぼり こりのうた リトミック・リズム遊び	かたつむり・かえるのうた きらきら星・たなぼたさま 水あそび	すいかの名産地・アイアイ げんこつ山のためきさん ぼんぼこたぬき	どんぐりころころ まつぼっくり・こぎつね やきいもゲーチャーパー 大きな栗の木の下で	あわてんぼうのサンタクロース お星がひかる お正月・ゆきだるまのチャチャチャ コンコンシャンのうた	鬼のパンツ・ゆき うれしいひなまつり ぶんぶんぶん・でておいで	
	健 康	運動	散歩	プールあそび		鉄棒ぶら下がり 三輪車			
反省		<p>新年度が始まり新入園児も1名増えた。新入園児・在園児ともに環境が変わったことではじめは不安そうな表情があり、遊びもじっくりと楽しめない姿があったため室内はゆっくりと過ごせるスペースを作り、玩具は遊びの幅を広げ一人ひとりの遊びに合わせた玩具を作るなど高月齢・低月齢ともに落ち着いて遊べるよう工夫していった。連休明けは再び不安そうな様子があったり、鼻水が出ていたりする様子があったが大きき体調を崩すことはなく、次第に友達の存在や環境にも慣れていった。身の回りのことについてはそれぞれのペースに合わせて一つ一つ丁寧な声掛けや着脱のしやすい環境を作るなど環境を整え、小さな成功と一緒に喜んでいくことで自分でやってみようという気持ちが出てきている。高月齢の子は衣服を裏返したり、畳んだりすることもでき始めているので大いに褒めていながら達成感を味わえるようにしたい。</p>		<p>今年は梅雨の時期が短く、蒸し暑い日が続いたが、こまめに水分補給を行い、シャワーを取り入れたことで、快適に過ごせる環境を整えられた。水遊びが始まり、全員が水への関心が高く喜んで活動に参加していた。戸外でなかなか遊びが見つけれなかった子も、水遊びでは主体的に参加し、水路の手作り玩具で友達と一緒に遊びを楽しんでいた。色水遊び・泡遊び・片栗粉遊び・春雨遊びなど夏ならではの様々な遊びを取り入れ、感触を楽しみながら遊ぶことができたので良かった。高月齢の子は色を混ぜて見たり、その物の性質を楽しみながら遊ぶ姿もあった。6月には野菜の苗植えを行った。自分たちで水やりを積極的にし、野菜の花や実がきているのを見出し日々生長を楽しみながら観察ができた。7月にはオクラの収穫ができ、その日の内に収穫から食べるまでができたため、取れた喜びそのままに食すことができた。暑い日が続く戸外に出られない日も多いため、クラス間で連携し室内での活動を充実させていきたい。</p>					